

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P170313	クラス名	清田研究室
担当教員名	清田 雄二		
履修上の注意、履修条件	卒業研究着手条件を満たしていることが必要です。卒業研究は自ら課題を持ち、自らその課題解決に向けて取り組む学部教育集大成としての活動です。自発的・積極的に取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	必要に応じて指示します。		
関連科目	初等教育のためのICT活用1・2、研究ゼミナールA・B、専門領域に関連する全科目		

○基本情報	
授業の目的	卒業研究は、大学4年間で学んだ学修内容を集大成する科目として位置づけられ、卒業後、教員として学校現場で活躍できるよう問題解決能力と実践的指導力を身につけることを目的とします。これまで学修してきた専門知識をもとに、自らが課題を発見し、その解決方法を考え、実践を通してその効果を検証し、卒業論文としてまとめ研究発表を行います。自主的な研究遂行能力、論文としてまとめ分かりやすく発表する思考力や表現力等、総合的な能力が養われます。
授業の概要	学校現場におけるICT活用の視点から、各自が研究テーマを決め、担当教員と議論しながら研究を進めていきます。ICT活用に関する学校現場の教育課題を解決するような実践を考え、学校現場に赴き実践研究することを基本とします。研究内容は卒業論文としてまとめ、学科の発表会にて研究発表を行い教員による審査を受けます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	清田雄二 小学校の教育現場で、講師・教諭・主幹教諭・教頭・校長と役職を変えながら34年間勤務している。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自らの研究テーマに深い関心を持ち、意欲的に研究に取り組める。			20点
【知識・理解】	研究を進めるために必要な知識を理解するとともに、先行研究を行い研究テーマについての理解を深める。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	研究内容について分かりやすく発表できる。また、適切な論文が作成できる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	研究テーマを決め、研究計画を立案・実施し、論理的に思考しながら研究を深める。		30点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
卒業研究に対する取り組み姿勢(20点)、研究発表(30点)、卒業論文(50点)で評価します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、その都度その場で個別に行います。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 清田 雄二	授業コード	P170313
<b>学修内容</b>				
<b>1. 研究テーマの調査</b> これまで学習してきたことを振り返り、先行研究を行い、研究テーマをします。				
予習	これまでの学習内容の整理、先行研究			約6時間
復習	先行研究の整理			約6時間
<b>2. 研究テーマの決定</b> 先行研究を整理し、研究テーマを決定します。				
予習	専門書や先行研究の整理			約6時間
復習	実践内容の計画			約6時間
<b>3. 研究計画の作成</b> 研究テーマを遂行するための研究計画を立案します。				
予習	実践内容の計画			約6時間
復習	研究計画の修正や再確認			約6時間
<b>4. 卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	研究計画書にもとづいた調査及び研究			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間
<b>5. 卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	研究計画書にもとづいた調査及び研究			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間
<b>6. 卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	研究計画書にもとづいた調査及び研究			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間
<b>7. 中間発表会</b> これまでの研究成果をまとめ、中間発表を行います。				
予習	ポスター発表の準備			約6時間
復習	発表会で指摘された点についての検討			約6時間
<b>8. 研究計画の見直し、卒業研究の実施</b> 中間発表会で指摘された内容について検討を行い、必要であれば計画を修正します。 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	これまでの研究内容の整理			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 清田 雄二	授業コード	P170313
<b>学修内容</b>				
<b>9. 卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	研究計画書にもとづいた調査及び研究			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間
<b>10. 卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて卒業研究に取り組みます。				
予習	研究計画書にもとづいた調査及び研究			約6時間
復習	実践研究の内容整理			約6時間
<b>11. 卒業研究論文の作成</b> これまでの研究内容を論文にまとめます。				
予習	論文の執筆			約6時間
復習	論文の執筆			約6時間
<b>12. 卒業研究論文の作成</b> これまでの研究内容を論文にまとめます。				
予習	論文の執筆			約6時間
復習	論文の執筆			約6時間
<b>13. 卒業研究発表会①</b> 卒業研究を発表します。				
予習	発表の準備			約6時間
復習	指摘された点についての検討			約6時間
<b>14. 卒業研究論文の修正</b> 指摘された点について検討を行い、論文を修正します。				
予習	論文の修正			約6時間
復習	論文の修正			約6時間
<b>15. 卒業研究論文の修正</b> 指摘された点について検討を行い、論文を修正します。				
予習	論文の修正			約6時間
復習	論文の修正			約6時間
<b>16. 卒業研究発表会②</b> 研究成果をポスター形式にまとめ発表します。 卒業論文を完成させ提出します。				
予習	ポスター発表の準備			約6時間
復習	卒業研究全体のまとめ			約6時間